

埼臨技 だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> X(旧Twitter): @sairingi

第53回 埼玉県医学検査学会のお知らせ

開催日：2025年12月7日(日)

開催場所：ソニックシティ

テーマ：Hop Step Jump

サブテーマ：～ 飛躍する未来に向けて、今学ぼう ～



～ 飛躍する未来に向けて、今学ぼう ～

【多くの演題登録・協賛、ありがとうございました！】

第53回埼玉県医学検査学会の実行委員長を務めております蓮田一心会病院の野本です。

このたび、演題登録・協賛受付を締め切らせていただきました。一般演題74題、学生演題14題、CM演題7題、合計95演題とたくさんのご登録をいただきました。日常業務のお忙しい中、ご協力いただきましたこと、誠にありがとうございました。また、賛助会員の皆様に於いては、ランチョンセミナー、広告、企業展示など、多くの協賛をご支援賜りましたこと、深く感謝申し上げます。学術活動に真摯に取り組まれる皆様の姿勢こそが、臨床検査の質を支えるものであり、私ども実行委員一同、日々感銘を受けております。

さて、学会本番まであと3カ月を切り、いよいよ準備も大詰めに差し掛かり、実行委員も右へ左へと駆けまわっております。今学会では、実現が難しいとされた企画や新しい取り組みも多々盛り込んでおり、専門学会にも負けない超音波企画や名門校の吹奏楽演奏、AIを使った企画など、ぜひご期待ください。また、一般演題や企画の分野毎の動線を意識した日程表にしており、「時間が被っていて見られない」なんて悲しいことが起こらない様、何度も作り直しました。

特別講演2題、教育講演1題、学会企画2題、研究班企画6題、ランチョンセミナー9題、市民公開講演4題と類を見ないくらいの規模感で準備を進めております。たくさんの会員や市民の皆様にご参加いただけたら幸いに存じます。ぜひ会場にいらしてください。心よりお待ち申し上げます！

(文責：第53回埼玉県医学検査学会 実行委員長 野本隆之)

【発表用スライドデータの送付方法について】

今回は一般演題、CM演題、学生演題のスライドデータ送付方法についてご案内いたします。発表用スライドデータ(Microsoft Power Pointで作成)は原則E-mail(以下メール)での送付となります。

ただし、ファイル容量が大きく送付が困難な場合は下記連絡先へお問い合わせください。

《送付方法》

- 1) 1 演題につきメール 1 通に添付し送信してください。
- 2) メール「件名」を「演題－氏名」としてください。

例) 生 1－埼玉太郎

演題番号は、演者へのメールまたは第53回埼玉県医学検査学会HPにて、「会場別演題発表タイムテーブル」をご確認ください。

- 3) 本文には何も記載しないでください。
- 4) 添付するファイル名はメールの「件名」と同じにしてください。
- 5) 添付いただいたメールのデータは実行委員会にて責任をもって消去いたします。

《送付期限》

令和7年10月31日(金)～11月14日(金)必着

※複数回送付いただいても差し替えはできませんのでご注意ください。

※送付方法に関わらず、スライドデータの受付から1週間以内に受付確認メールを送信いたします。

※送付から1週間が過ぎても連絡のない場合は、下記までお問合せください。

《スライドデータ送付先及び問合せ先》

学術部 高橋 俊 (国際医療専門学校)

E-mail : s-takahashi@imc.ac.jp TEL : 048-866-6600

【事務局を担当して】

第53回埼玉県医学検査学会の事務局兼学術を担当させていただきます、越谷市立病院の島内一輝と申します。今回、初めて実行委員を務めることになり、役割が想像以上に多岐にわたることに驚いております。これまで実行委員を務められた方々に敬意を表しながら、第53回らしい学会開催に向けて瀧沢学会長を中心に準備を進めてまいります。

学会では1日中楽しめる、期待を裏切らない企画を多数ご用意しております。参加者の皆様が多くを学び、今後のご活躍の手助けになる、新たな一步を踏み出そうと思える、そんな学会を目指しております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(文責：第53回埼玉県医学検査学会 事務局兼学術部 島内一輝)

事前参加登録を「Peatix」(イベント管理サービス)より行っていただきます。

「Peatix」に登録後参加費の事前払いとランチョンセミナーの申し込みが可能となりますので参加登録をお願いします。Peatixのアプリはこちらから。

Google Play



App Store



県医師会精度管理試料発送作業に参加して

川口市立医療センター
三瓶 祐也

令和7年度埼玉県医師会精度管理調査試料発送準備作業に参加いたしました。

この作業は例年、各分野の研究班員や埼臨技理事の方々によって行われており、以前からその活動の存在は知っていましたが、実際に参加するのは今回が初めてでした。

作業内容は、梱包材の組み立てに始まり、各分野の試料の封入、宛名ラベルの貼付、要項の同封などを流れ作業で進めていくものでした。参加されている皆様は経験豊富な方ばかりで、迅速かつ正確に役割を担われており、その作業効率に圧倒されました。私自身は慣れるまで戸惑いもありましたが、徐々に流れを理解し、微力ながら貢献できたのではないかと感じております。

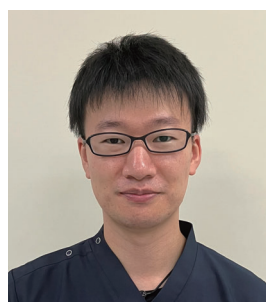
この事業は、埼玉県医師会精度管理に参加されている施設にとって外部精度管理としての役割を担っている大切な活動です。今回参加してみて、その重要性を改めて実感するとともに、自分もその一端を担っているのだという責任を感じ、身の引き締まる思いがしました。

今後とも埼玉県医師会精度管理事業に力を尽くしていきたいと思いますので、多くの方に少しでも関心を持っていただければ幸いです。



埼玉県立循環器呼吸器病センター
林 達矢

R7年度埼玉県医師会臨床検査精度管理調査試料の発送作業に、初めて参加させていただきました。いつも届く精度管理試料を見て「誰かがきっと箱詰めしてくれているのだろうな」と漠然と思っており、ちょっと楽しそうだなとも思っていました。私は昔から工場のライン作業が好きでした。なので、今回参加できて嬉しく思いました。実際、現場では各研究班の班員が流れてくる箱に、班員が事前に準備した精度管理試料を該当する施設の箱に入れていくという作業を行い、班員同士で何重にもチェックした後、最終的に配送用パックに入れていくという流れでした。皆がスピーディーに作業を行っており、緊張感もありつつとてもやりがいのある作業でした。また、予想よりも多くの方が関わっており、皆の協力があるから外部精度管理が成立しているのだと改めて思いました。最後に、今回の作業が皆様の施設の外部精度管理の一助になることを願っております。また、精度管理事業には多くの方が時間を割いて成り立っていることを少しでも知っていただけると幸いです。今回は参加させていただきありがとうございました。



研究班研修会報告

テーマ 神経伝導検査実技講習

主催 生理検査研究班

実施日時：2025年7月26日 13時00分～17時00分

会場：大東文化大学東松山キャンパス9号館9302生理実習室 教科・点数：専門教科－20点

講演1：神経伝導検査の基本テクニック（講義）

講師1：植松 明和（大東文化大学 スポーツ・健康科学部）

講演2：実技指導

講師2：工藤 淳子（学校法人北里研究所 北里大学メディカルセンター）

参加人数：会員21名

出席した研究班班員：南雲涼太 工藤淳子 新井雅人 島内一輝

研修内容の概要・感想など

今年度第1回目のハンズオン企画である。神経伝導検査装置3台、参加者16名、講師2名、スタッフ3名の計21名、講習内容は座学講義ののち実技講習との2部構成で開催した。日本臨床神経生理学会における専門技術師を取得されている植松氏、工藤氏の2人が講師を務めた。

はじめに神経伝導検査の基本テクニックについて講義があった。その後、講義内容を基に検査装置を使用しながら参加者が実際に各神経の複合筋活動電位の導出に挑戦し実技講習を進行した。

今回の講習会では神経伝導検査における経験年数の制限を設けず、幅広く参加者を募集した。実際の参加者は初心者が12名と大多数を占め、他の4名も経験が浅いことから講習会内容は基本的に忠実な内容となった。講義では、神経伝導検査の実際として検査の注意点、上肢・下肢の主な神経の走行における電極の装着部位、神経刺激点、破格についてテクニカルエラーや波形導出のコツ等を交えながら説明・解説があった。また、正常例と異常症例が提示され知識を深めた。実技講習では講師の2人によるデモンストレーションをおこなった後、3つに分かれ、初心者は正中神経における運動・感覚神経の導出について、経験者は講義で学んだこと、コツ等を直に教わりながら、日々のルーチンで苦手な神経の導出に時間を要していた。最後には神経伝導検査とセットで検査依頼の多い針筋電図検査においても解説があった。検査技師は実際に実施できないが、医師の補助として検査に携わる施設も多いと思われる。安静時、弱収縮時、強収縮時に導出される波形について説明があり、参加者は苦手意識が軽減したと思われる。

今回、苦手意識の高い神経生理分野でハンズオン企画を開催した。神経生理学会で企画はあるものの、都道府県単位での企画はとても希少と思われる。実際、今企画では経験が少ない技師の参加が目立ち、企画の需要を感じた。講習で学んだことを是非臨床に還元してほしい。

（文責：島内一輝）

テーマ **2025年 細胞診標本実習 細胞検査士認定試験へ向けて**

主催 細胞検査研究班

実施日時：2025年8月30日 9時00分～13時00分

会場：学校法人明星学園国際医療専門学校臨床検査実習室 教科・点数：専門教科－20点

講師：鶴岡 慎悟（独立行政法人地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター
病理診断科）

船津 靖亮（株式会社 正和ラボラトリー）

急式 政志（地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター）

野本 伊織（埼玉県済生会川口総合病院）

猪山 和美（自治医科大学附属さいたま医療センター）

稲山 拓司（深谷赤十字病院）

小川 弘美（社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院）

並木 幸子（獨協医科大学埼玉医療センター 病理診断科）

加藤 智美（埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科）

中山 美咲（防衛医科大学校病院）

参加人数：会員30名

出席した研究班班員：鶴岡慎悟 船津靖亮 急式政志 野本伊織 猪山和美 稲山拓司
小川弘美 並木幸子 加藤智美 中山美咲

研修内容の概要・感想など

本研修会は、細胞検査士認定試験の実技対策を目的とし、細胞診標本実習を中心に鏡検実習を行った。実習はスクリーニング26症例と同定33症例を用いて実施し、これらの症例は過去の細胞検査士認定試験の出題傾向を踏まえて準備した。

昨年と同様に定員30名で実施したが、70名を超える応募があり、実習形式による研修会の必要性が改めて示された。参加者は細胞検査士認定資格を未取得の県内会員を優先するとともに、抽選で選ばれた県外会員を含む合計30名であった。

実習では、標本に対する詳細な解説を準備し、参加者が理解しやすいよう配慮した。質疑応答では、研究班講師が個別に対応し、診断過程に関する具体的な疑問点について議論が深められた。参加者からは「試験に近い形で実習を行うことができ、試験への心構えとして大変有用であった」との感想が寄せられた。

(文責：鶴岡慎悟)

**令和7年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第6回 理事会議事録**

日 時：令和7年9月11日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項

Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事)松岡 猪浦 濱本 西田 三木
網野 藤原 伊藤 塚原 神嶋
笛木 長谷川 神戸 小林
工藤 久保田 長岡 原 土田
(監事)島村 細谷

Zoomにて出席

(理事)山口 阿部 佐瀬

欠 席：(理事)なし

(監事)なし

本日の理事会の出席者は24名であった。理事の出席者は22名で、現在22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、松岡優会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告

(令和7年8月14日～令和7年9月10日)

8月12日(火)第53回埼玉県医学検査学会実行委員会：伊藤、藤原

8月14日(木)令和7年度第5回理事会：

松岡、猪浦、山口、濱本、阿部、西田、三木、佐瀬、網野、伊藤、藤原、塚原、神嶋、笛木、長谷川、神戸、工藤、久保田、長岡、原、土田、島村

8月15日(金)2026年度日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会(第62回)

第2回準備委員会：

松岡、猪浦、山口、濱本、阿部、西田、三木、佐瀬、網野、藤原、塚原、神嶋、笛木、長谷川、神戸、小林、工藤、長岡、久保田、原、土田

8月17日(日)タスクシフト指定講習会(埼玉県036)：猪浦、神戸、長谷川、佐瀬、藤原、工藤、西田

8月21日(木)日臨技診療報酬委員会(Web)：猪浦

8月28日(木)第25回わらび健康まつり第2回実行委員会：神嶋

9月1日(月)HPリニューアル業者打ち合わせ(Web)：濱本、猪浦、塚原

9月6日(土)埼玉県医師会精度管理調査試料発送準備：

松岡、猪浦、山口、神戸、長谷川、久保田、小林、西田、工藤、土田、佐瀬、網野

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1) 9月4日(木)日本超音波医学会第37回関東甲信越地方会学術集会の後援名義使用について承諾の回答をした。

2) 9月4日(木)第15回一般検査TOCHIGIセミナーの共催承諾の回答をした。

2 総務部

1) 8月17日(日)タスクシフト指定講習会(埼玉県 036)を開催した。(別紙資料1)

2) 9月1日(月)HPリニューアル業者打ち合わせを行った。(別紙資料2)

3) 9月15日(月)だより第556号発行予定。

4) 10月19日(日)タスクシフト指定講習会(埼玉県 037)を開催予定。

：佐瀬 神嶋 長岡 小林 藤原 濱本 猪浦(責任者)

3 事業部

1) 8月28日(木)第25回わらび健康まつり第2回実行委員会に参加した。

(別紙資料3)

2) 深谷市福祉健康まつり派遣スタッフの公募に5名の申し込みがあった。

3) 第52回埼玉県医学検査学会での青年部学会企画にて、養成校連絡協議会へ学生アンケートへのご協力依頼があり、対応を行った。(別紙資料4)

4) 全国「検査と健康展」の名義後援依頼を6団体へ行った。

4 学術部

1) 8月21日「10月・11月生涯教育研修プログラム」の日臨技システム行事登録作業を完了した。

5 精度保証部 特になし

6 会計部

1) 令和7年度正会員費19名95,000円、入会金15名15,000円、再入会4名4,000円、合計114,000円の入金があった。

2) 日臨技より、日臨技生涯教育推進研修会助成金119,500円の入金があった。
累計449,500円/10回

3) 石井印刷に埼臨技だより第555号Web版11P55,000円を支払った。

7 精度管理委員会

1) 9月6日(土)埼玉県医師会精度管理調査試料発送準備が無事終了した。

8 一都八県会長会議 特になし

9 日臨技関甲信支部

- 1) 令和7年度人材育成研修会について、予算申請書を作成中。今月中に日臨技へ提出予定。

10 日臨技 特になし

11 第53回埼玉県医学検査学会

- 1) 8月12日(火)第10回実行委員会が開催された。(別紙資料5)

12 2026年度日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会(第62回)

- 1) 8月15日(金)第2回準備委員会を開催した。(別紙資料6)

- 2) じほう社より、学会取材依頼が当会事務局に届いている。理事会の取材許可をいただきたい。

- 3) 学会HPに協賛会社の記載をしたい。

上記の件について、伊藤隆史学会担当理事より発言があり、審議の結果、1)に関して「教育」：伊藤理事、「チーム医療」：濱本理事、「管理運営」：笛木理事が担当するとし、2)に関しては承認された。3)はHPには記載しないこととなっているので、否認された。

9 2026年度日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会(第62回)

特になし

III. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向(令和7年度分)

令和7年9月1日現在

会員数 3,725名[令和6年度会員数3,612名]

(新入会員234名)

賛助会員 68社[令和6年度72社]

承認された。

2 総務部 特になし

3 事業部 特になし

4 学術部 特になし

5 精度保証部 特になし

6 会計部 特になし

7 精度管理委員会 特になし

8 第53回埼玉県医学検査学会

- 1) 座長の選任を研究班にお願いしたい。
また「教育」「チーム医療」「管理運営」は理事から選出をお願いしたい。

(別紙資料7)

IV. 議題

1 事務局 特になし

2 総務部 特になし

3 事業部

- 1) ニューリーダー研修会の開催について

上記の件について、塚原晃事業部部長より発言があり、検討の結果、今年度は開催しないこととした。

4 学術部 特になし

5 精度保証部 特になし

6 会計部 特になし

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

あ と が き

この10月で今年度も折り返し、春、夏を経て、季節は巡って「実りの秋」を迎えました。そして今年の夏も暑かったなあと思う今日この頃です。

さて、この時期は地方自治体の来年度予算編成、国でも各省庁が提出した概算要求を確認しているときです。埼臨技でも研究班や各部、委員会の来年度予算案を確認している頃です。お仕事をされていると、知識、技術の習得やコミュニケーション能力の向上など、スキルを高めることを想像されますが、マネジメントも必要になっています。



今年度、日本臨床検査技師連盟では青年部の活動として、「臨床検査技師という生き方と未来」というテーマで、毎月第一月曜日にzoom勉強会を開催しております。キャリア、マネジメントなど様々な経験を聞くことができます。連盟会員でない方も無料で参加できますので、興味がありましたら参加をしてみませんか。

(神戸 記)

